

しどころ

志度港（県管理地方港湾）

志度港は香川県東部、志度湾の奥部に位置し、西を五剣山を擁する庵治半島、東を美しい自然に恵まれた大串半島により囲まれた、天然の良港であり、古くから、背後で生産される砂糖、米の積出し港として、また、京、大坂から着く肥料、雑貨等の荷上げ港として栄えてきました。



志度は古くは「玉の浦」と呼ばれ、海女の玉取り伝説、源平合戦等にも名を残す歴史と伝説の町であり、また、江戸時代、エレキテルの発明等で知られる鬼才、平賀源内の生まれた里としても有名です。

町は四国霊場八十六番札所、志度寺を中心に発展した門前町で、志度港はその海の玄関として重要な役割を果たしてきました。

近年では道路、鉄道等の整備により、高松のベッドタウンとして目ざましい発展を遂げ、また、港湾においても昭和46年から49年にかけて、約45haの臨海工業用地を造成し、機械、木材等を中心とする工業ゾーンを形成しています。



現在は、都市的発展を続ける背後圏を控え、工業、水産業の拠点として、総合的な港湾の発展が期待されています。